

第 66 回中部日本生理学会

会 期：令和元年 10 月 4 日（金）・5 日（土）
会 場：新潟医療人育成センター 4 階ホール
（新潟大学旭町キャンパス内）
当番幹事：新潟大学大学院 医歯学総合研究科（医学部）
分子生理学分野 日比野浩
神経生理学分野 長谷川功
演 題 数：46 題
参加人数：69 名

第 66 回中部日本生理学会は、新潟大学旭町キャンパス内において上記日程で開催されました。事前参加登録された 66 名および当日受付された 3 名の合計 69 名のご参加をいただきました。そのうち学生の参加は 18 名でした。演題数は、口演発表 27 題およびポスター発表 19 題で合計 46 題でした。大学院生から教授まで幅広い年代の発表者により、心・血管、脳神経、消化器、腎泌尿器、感覚器など広範な分野にわたる研究成果が紹介されました。質疑応答も非常に活発でした。また、ポスターセッションの前に、その内容の概略を説明する 1 分ずつのフラッシュトークを実施しました。総会では、各種委員会等の報告、および新たに中部地区に着任された教授等のご紹介を行いました。また、2 年後の第 68 回大会の当番幹事を金沢医科大学医学部の加藤伸郎先生と倉田康孝先生に決定いたしました。初日の夜には、白山会館にて懇親会を開催し、新潟の酒や魚、文化芸能とともに、楽しいひと時を過ごしました。

ご遠方のところ、ご参加頂いた皆様、およびご寄付やご協賛を頂いた先生方・企業の方々に、心より感謝いたします。ありがとうございました。

次回の第 67 回大会は、愛知医科大学医学部の佐藤元彦先生、増渕悟先生が当番幹事をご担当下さり、令和 2 年 10 月 16 日（金）、17 日（土）に開催される予定です。

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2）p. 1～p. 16 をご覧ください。